

4 - 1 伊豆半島付近の地震活動 (1983 年 12 月～ 1984 年 5 月)

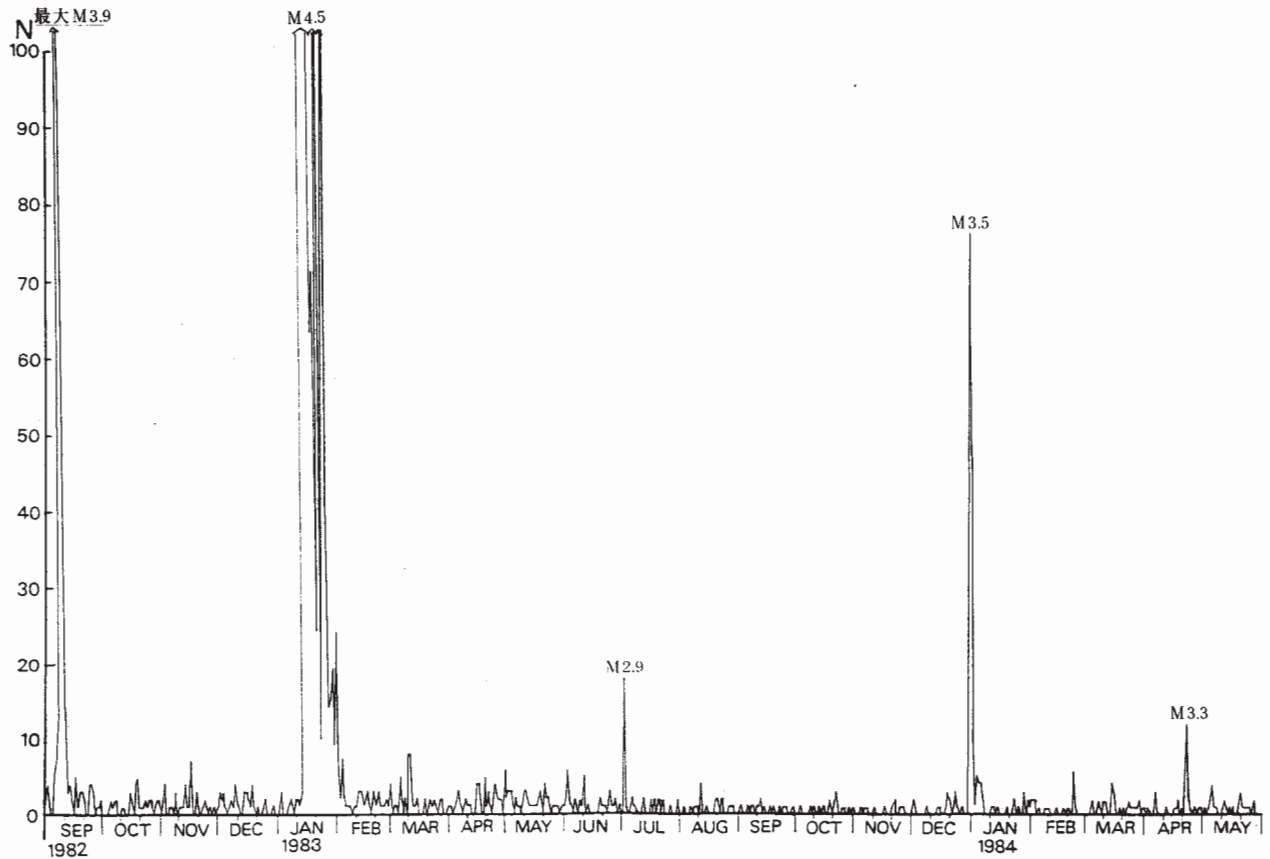
Seismic Activities in and near Izu Peninsula (December, 1983 - May, 1984)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

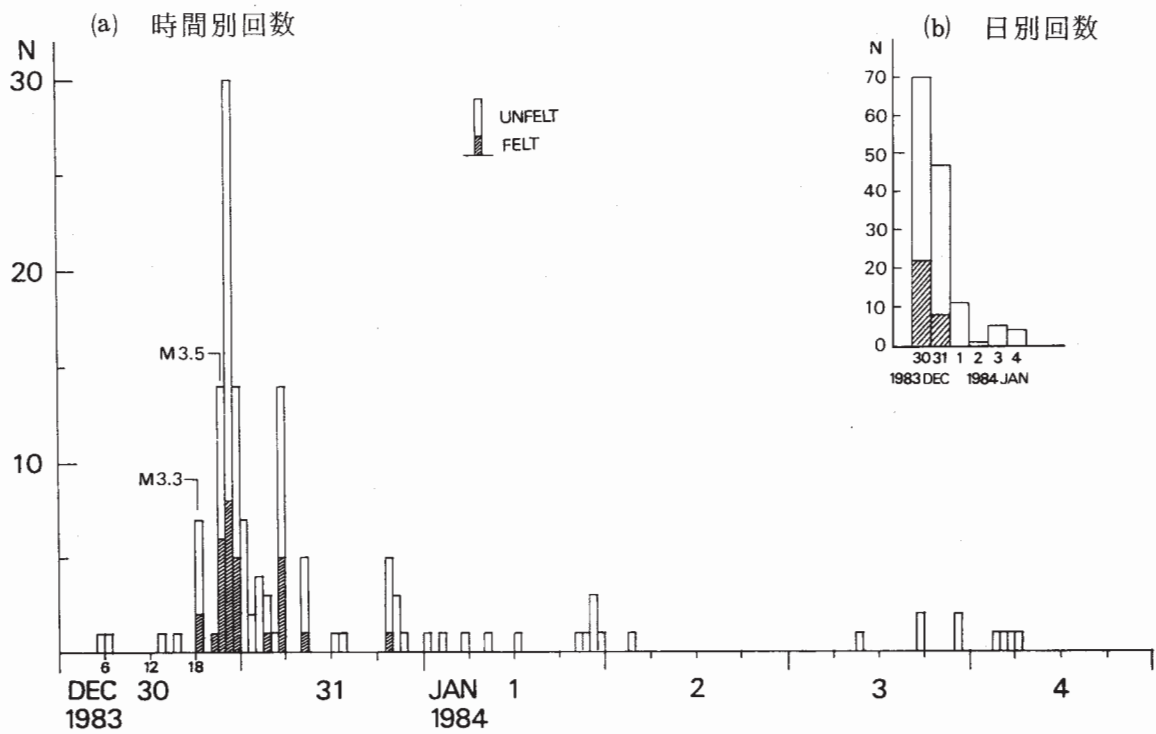
第 1 図は伊東市鎌田における S - P 6.0 秒以下の地震の日別回数である。12 月 30 日頃から伊豆大島付近で地震が群発し 1 月 4 日頃まで続いた。また 4 月 22 日に大島で震度 3 など有感地震 2 回を含む小規模な地震活動があった。

第 2 図は 12 月 30 日頃から始まった伊豆大島付近の地震活動の鎌田における時間別、日別地震回数である。今回の活動では、30 日と 31 日に有感地震が合わせて 30 回発生するなどかなり活発な活動がみられた。なかでも、30 日 18 時 55 分の M 3.3 および 21 時 51 分の M 3.5 の地震では大島で震度 4 が観測された。マグニチュードの割合に震度が大きかったのは、震源が極く近く浅い地震であったことが考えられる。爆破地震動観測にもとづくおそい構造 (地質調査所) を用いると、震源はほとんどが島内にくる可能性がある。有感地震の震度別回数は震度 4 が 2 回、3 が 1 回、2 が 2 回、1 が 25 回であった。第 3 図は 1 月 4 日までの震央分布である。震源は大部分が島の西方に集中しており、深さはいずれも浅く 10 km 以下であった。

第 4 図は伊豆半島付近を中心にした左図に示す地域内における 1970 年以降の地震活動の時空間分布である。図の中で英字で示したものはこの期間の主な地震で、左図のものと対応している。伊豆半島付近では 1974 年伊豆半島沖地震以後活発な活動が続いているが、最近は三宅島付近および神奈川・山梨県境付近でも活発な活動がみられる。

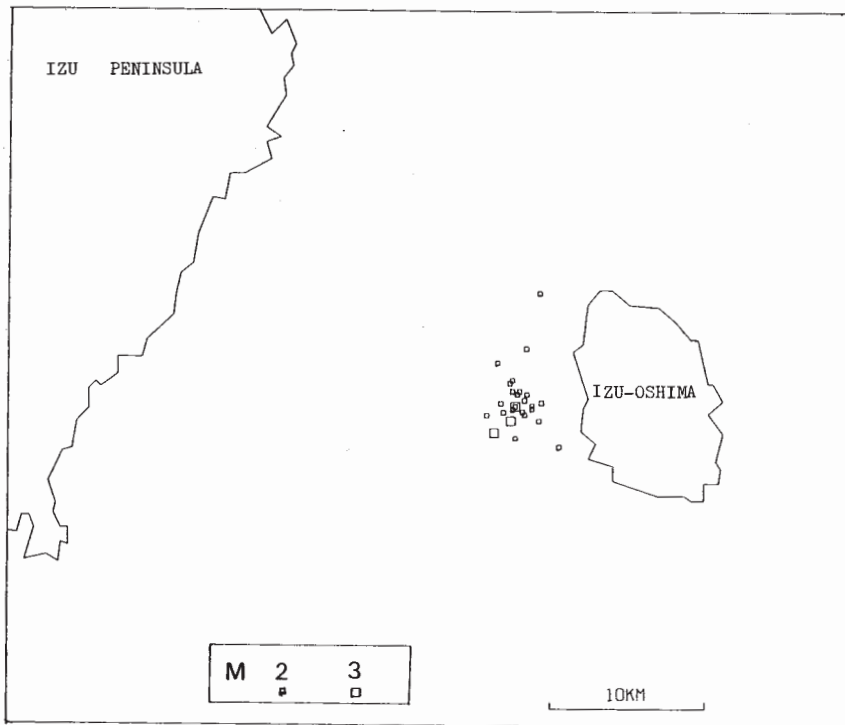


第1図 伊東市鎌田における日別地震回数 (S - P ≤ 6.0 秒)
 Fig. 1 Daily numbers of earthquakes observed at Kamata (S-P ≤ 6.0 sec).



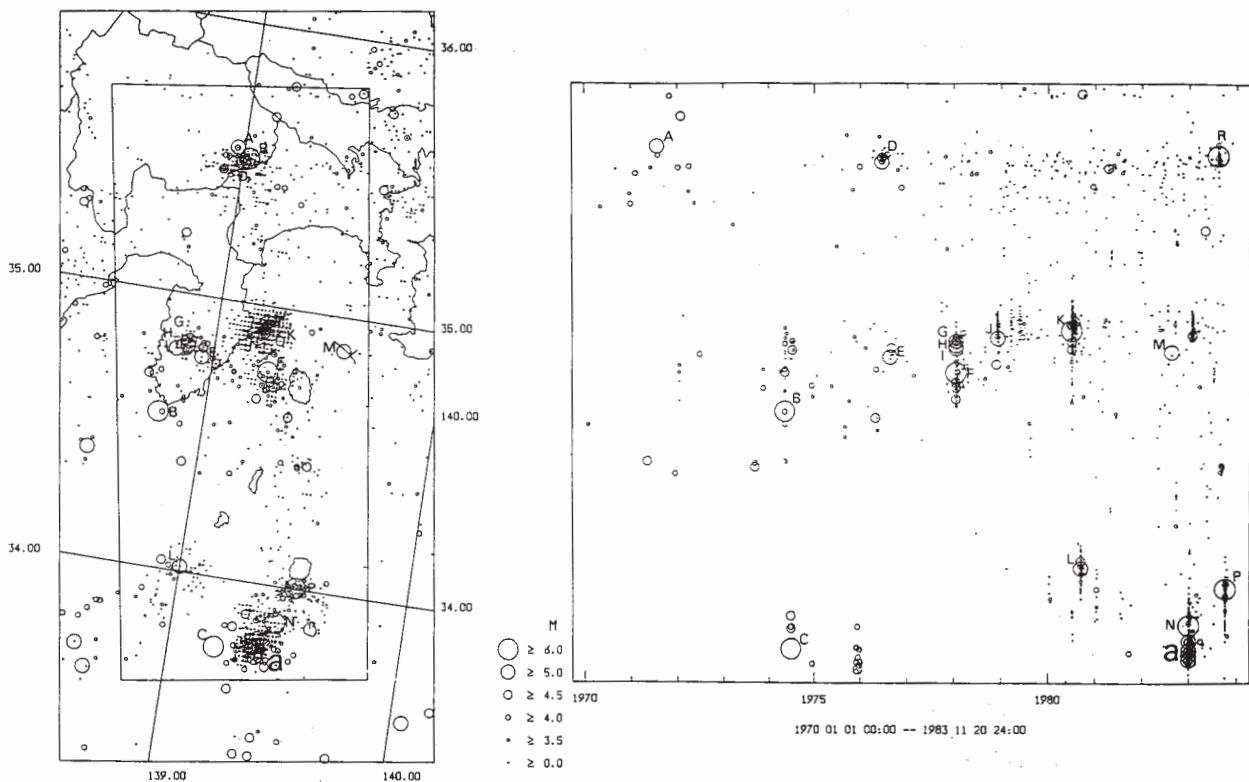
第2図 1983年12月～1984年1月の伊豆大島付近の群発地震の鎌田における時間別・日別回数

Fig. 2 Hourly and daily numbers of earthquakes observed at Kamata, in the swarm activity near Izu - Ōshima, December 30, 1983 - January 4, 1984.



第3図 1983年12月～1月の伊豆大島付近の群発地震の震央分布（1月4日まで）

Fig. 3 Distribution of epicenters of earthquake swarm near Izu - Oshima, December 30, 1983 - January 4, 1984.



第4図 伊豆半島およびその周辺地域の地震活動の時空間分布（1970年1月1日～1983年11月20日）

Fig. 4 Space-time distribution of earthquakes near the Izu Peninsula, January, 1970 - November, 1983.